

松 風

発行：風の松原に守られる人々の会 事務局：郵便番号016-0102 秋田県能代市一本木80-2 佐藤幸雄方 電話0185-58-3089

会設立からの歩み

今号には平成19年4月から8月までの活動を記録しました。見出し番号は創刊号からの通し番号です。

81 平成19年度総会開催

「風の松原に守られる人々の会」

平成19年度総会



会報 013号 平成19年8月29日発行 12ページ 200円（税別）
発行所 能代市中央公民館 第一会議室

4月13日（金）午後1時30分から今年度総会が能代市中央公民館で開催された。

総会には米代西部森林管理署から流域管理調整官の森川寛氏、山本地域振興局から森づくり推進課長の草薙光氏と春日重和技師、能代市から農林水産課長の北澤至氏と佐藤義光農林整備係長が出席した。

米代西部森林管理署等のあいさつの後、進藤日出男氏を議長に選出し、松原の現状について活発な質疑が行われた。



写真は会員が質問している場面。写真右側には来賓が着席しているので、ここ数年で最大の出席者数となった。

今年は役員改選の年に当たり、選考の結果、会長、副会長とも留任となった。総会後の役員会で会長から委嘱された幹事等を含め、平成19・20年度の役員は下記のとおり。

会 長 鷺尾禮次郎

副会長 福司和夫・浅野ミヤ・安井昭彦

監 査 佐々木利雄・塚本誠子

幹 事 佐藤幸雄（事務局長）・秋林弘道・伊藤昭子・大高一成・小嶋康太郎・小林勝平・小山佳代子・桜田隆雄・佐藤修正・佐藤恒雄・佐藤浩嗣・進藤日出男・鈴木あつ子・田中芳夫・渡辺進（五十音順）

82 風の松原バードウォッチング

4月28日（土）6:00～7:30 バードウォッチングを実

施。参加者数は25名。

最初に講師の渡辺進さん（会員）からバードセンサスの記入方法についての説明を受け、日和山方面目指してスタート。

渡辺進さん作成の資料「風の松原でよく見られる野鳥」を見ながら観察開始。土手の桜が満開の中で、陸上競技場のフィールドに展開する小鳥たちの動きを観察。ここでメジロとツグミなどについて学んだ。

日和山に新設されたあづまやはからは白神山地の山々の眺めが抜群だった。

その後、日和山下から昔の作業道を辿りながら小鳥を探した。本来のバードウォッチングでは多人数だと小鳥に逃げられてしまうので、2～3人で行うのが適当とお話しもあった。

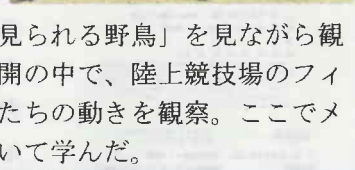
陸上競技場脇に戻っての鳥合わせによると、この日観察したのは18種だった。

83 風の松原を守る市民ボランティア大会

5月6日（日）9:00～11:30 風の松原に守られる人々の会も主催団体になっている「風の松原を守る市民ボランティア大会」が開催された。

今の主催になって5年目の今年は、高校生を加えて八百人余。各種トラック20台、ローダー3台が準備された。本会からは6名が作業リーダーとして参加。他の会員は個人で申し込みをして参加した。

大会には昨年「風の松原に守られる人々の会」の幟も登場。閉会式の鷺尾さんのあいさつでは「今





年にはかほ市や大仙市からの参加者もあった」「皆さんの善意で、能代の財産である松原が未来に向かって成長することを信じている」と述べていた。

84 講演会 森の清浄しさを探る

5月17日(木)10:00~12:00 今年の本会の企画である講演会がサン・ウッド能代で開催された。参加者は38名。講師は植物天然成分研究の国内第一人者である木材高度加工研究所所長谷田貝光克先生。

演題は「森の清浄しさを探る」。緑深い森に入ると

気分がさわやかになりリフレッシュする。その気分を快適にする木の香りを学問的に解明し、カビや細菌の繁殖を防ぐ力、害虫を抑える力、ホルムアルデヒドなどの有害物質を除去する力などを説明して、木の香りでは快適な生活ができることとお話しになった。



85 森林浴と植物観察会

5月25日(金)9:30~11:30 先に実施した講演会とセットで計画したのがこの「森林浴と植物観察会」。

当日はあいにく小雨模様だったが、講演会の様子が新聞報道されたこともあって、申込みよりも多い33名が参加。

コースを60分コース、75分コース、90分コースの三班に分けてスタート。

3コースの経路は省略するが、一番時間を要したのは75分コース。2時間近く要したが、植物観察の説明が面白く、アカ



ゲラなども観察できたと参加した人たちは満足そうに話していた。

86 第1回ニセアカシア萌芽撃退作戦

6月22日(金)9:30~11:30 今回はこの春ウッドチップ歩道が敷かれたばかりの日和山方面。参加者は14名。日和山あづまや周辺で芽欠きを実施してから帰り際にこの春クロマツ苗が植林されたばかりの場所を通り、クロマツ苗が雑草に覆われている様子に唖然。いくらか下刈りしたが、時間オーバーで断念。参加者全員が次回はこのクロマツ苗を救おうという気持ちを抱いた。



87 樹種名札取り付け作業

7月20日(金)9:30~11:30

去年は会の行事がある時は必ずと言っていいほど晴れていたのだが、今回はなぜか雨。樹種名札を組み立てる作業は陸上競技場本部の屋根の下で実施。この名札は6月25日に木の学校で作成したもの。

昨年まではシュロ縄で幹に結びつける方法だったが、今回から支柱を立てる方法が許可されたので、日和山方面を中心に取り付け。中には昨年までのものを補強した箇所もある。今回の設置は全部で28箇所。



88 広報誌「んだすな」に本会が紹介される

7月15日発行の秋田県ボランティア・NPO活動ニュース県北版『んだすな』7月号に本会の活動の様子が「守り継がれる風の松原」という見出しで3ページにわたって紹介されている。

89 第2回ニセアカシア萌芽撃退作戦

8月4日(土)6:00~7:30 当日は台風5号の余波で始まる前は雨。多少の雨でも実施しようと話し合っていたが参加者は12名。クロマツ苗の植栽箇所は米代西部森林管理署で実施するというので、6月22日と同じ場所の2回目を実施した。